

第 27 回議会報告会 報告書

地域名	伊佐地域		
年月日	令和 7 年 4 月 30 日 (水)	会場名	伊佐ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 20 分
参加数	男性 9 人	女性 1 人	合計 10 人
班 長	浄慶耕造	司会者	浄慶耕造
報告者	深澤 巧 川瀬 稔 塚本正彦	書記	塚本正彦
班員名	浄慶耕造 深澤 巧 塚本正彦 川瀬 稔		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① やっふるカードに 4,000 円分が付与された。市民への物価対策だと思うが、利用先が限定されている。もっと市民の立場に立った政策にならないのか。</p> <p>② (これらの対策では) 個人商店がよくなる保障がない。一般市民に奉仕する目的とする方がいい。</p> <p>③ 八鹿病院について。看護師が不足して入院患者さんを受け入れることができないことが、経営の悪化につながっているのか。</p> <p>④ 看護学校を卒業して八鹿病院に残ってもらうためには、この地域が住みたいところであることも必要だ。病院だけではなく地域の課題として考えてほしい。</p> <p>⑤ 八鹿病院でお産ができなくなった。説明にあったように今年の出生数が 88 人では医師確保がむずかしいとは聞いている。今後はどういう見込みか。</p>	<p>① 市民への物価高騰対策であるとともに地元事業所、商店の底上げという経済政策でもある。地元商店の継続のためにも協力してほしいということだ。</p> <p>② クーポン券事業が市内事業所の支援になっているかどうか、利用実績のデータはあるので議員それぞれが検討していきたい。</p> <p>③ 病院収益を上げるためには医師のみならず看護師の確保も重要である。併設する看護学校の定員を確保し八鹿病院に勤務してもらうことも大事である。そのために奨学金の返済を免除する議案の審議も行っている。</p> <p>④ ご意見としてお聞きし今後の参考にする。</p> <p>⑤ お産のできる産婦人科の維持のためには 5～6 人の医師がいて、年間 400～500 人の出産が必要とされる。厳しい現実がある。しかし数が少なからうがどこに住もうが安心してお産ができる施設は必要だ。国や県</p>	

	市 民	対 応
		の問題ではあるが、医療の格差、医師の偏在をなくす取組みは市議会としても課題である。
意見交換会での質疑	<p>① 例えばPET-CT（認知症等の検査機器）を買うのをやめて周産期医療に投入するとか、若年層のがん患者治療を優先するとか、いろんな選択に直面する。主権者として市民が育っていかなければならないが、議員は高い位置から市民を引っ張ってもらいたい。</p> <p>② 今年の施策の中で「やさしい農業」というのがあったが、「やさしい」と農業が私の中では結びつかない。こういうことだと、教えてもらいたい。</p> <p>③ 市長が行っているタウンミーティングと議会報告会はどのように違うのか。参加者の男女比とか年齢層はどうか。</p> <p>④ 過去は事業評価シートというのがあるが、それを開示することによって行政と市民の相互理解に繋がっていたと思う。行政のやることの評価がないまま、「社会的処方」などの新しいことをやってもうまくいかないのではないか。</p>	<p>① 世代間の分断になってはいけないが、すべての人が希望を持てる社会のために議会は頑張る。</p> <p>② 私たちの地域では農業が地域のコミュニティを支えていく基盤になっていると思う。農業は集落での共同作業が求められる。人と人とのつながりが生まれ、災害の時とか必要なときに助け合いとなって発揮される。それが農業の持つやさしさではないか。</p> <p>③ 女性や若い人の参加者が少ないのが現状だが、少ないながらも活発に意見を出してもらっている会場も多くある。議員は市民の代表なのでみなさんと同じ立場で市政への意見を交換し、議会活動に役立てるつもりである。</p> <p>④ 財政が厳しい時代、事務事業評価によって行革が進められた。今はしてないが、代わりに、各部局は経営マネジメントという方法で自己評価を行い、ホームページに公開している。今年度は予算が打ち切られているので今後の進め方は確かめたい。</p>

市 民		対 応
その他 (提言など)	<p>① 伊佐は台風7号で断水を経験した。水道の大切さを骨身で感じた。議会はどのように考えているか。</p> <p>② 移住定住政策についてだが、マッチングにもっと予算をつけてほしい。加えてUターンに力を入れるべきだと思う。</p> <p>③ 市の防災倉庫があって発電機など資機材が保管されている。災害時に地元で使いたいですがそれはダメだと言われている。地元で活用できれば安心だ。</p> <p>④ 上小田でも一昨年「元気にクラス」をやっている。老人クラブ90人中13人だが仲良くフレイル予防に取り組んでいる。養父市はまだまだ要支援・要介護の割合が多い。自分で体は守っていかなければと思っている。</p>	<p>① 公共施設や水道管の老朽化が全国的にも問題になっている。養父市も水道料金の値上げの答申が審議会から出ている。議会は所管の常任委員会で調査し、市民目線で提案できるような仕組みを作らなければならないと考えている。</p> <p>② 大屋にも有機農業をやりたいということで移住者が何人もある。しかし収入があって生活が成り立たなければ永住することが難しい。限られた予算の中で集中した施策を作ることも大事だと思う。</p> <p>③ ご意見としてお聞きし今後の参考にする。</p> <p>④ ご意見としてお聞きし今後の参考にする。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年5月19日

報告者 3班 班長 浄慶 耕造